

社会福祉充実残額算定シート

1. 「活用可能な財産の算定」

項目	金額
資産 (a)	1,372,548,624
負債 (b)	1,165,900,956
基本金 (c)	80,000,000
国庫補助金等特別積立金 (d)	330,155,906
合計 (a - b - c - d)	-203,508,238

- 手入力（必須入力）するセルです（※「社会福祉法人の財務情報等電子開示システム」搭載版では、他シートを参照するための計算式が設定されていますので、手入力は不要となります。）
- 計算式が設定されており、入力することはできません。
- 手入力するセルです。（不明の場合は、記載欄に従って入力してください）
- 合計額を算出するための計算式が設定されており、入力することはできません。
- プルダウンリストから選択するセルです。直接入力することはできません。

2. 「社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等」

(1) 財産目録における貸借対照表価額

項目	金額
合計 (a)	

(2) 対応負債

項目	金額
1年以内返済予定社会福祉推進業務設備資金借入金	0
1年以内返済予定設備資金借入金	44,652,000
1年以内返済予定リース債務	4,541,973
社会福祉推進業務設備資金借入金	0
設備資金借入金	1,012,204,000
リース債務	0
合計 (b)	1,061,397,973

(3) 合計

項目	金額
財産目録合計 (a)	0
対応負債合計 (b)	1,061,397,973
対応基本金 (c)	80,000,000
国庫補助金等特別積立金 (d)	330,155,906
合計 (a - b - c - d)	0

3. 「再取得に必要な財産」

(1) 将来の建替費用

財産の名称等	取得年度	建設時延べ床面積 (小数点以下第4位 を四捨五入)	建設時自己資金	大規模修繕実績額	減価償却累計額	建設単価等上昇率				自己資金比率			合計額	
						①建設工事費 デフレター	②1㎡当たり単価上昇率		③一般的自己 資金比率	④建設時自己資金比率				
							一般的1㎡当たり 単価 (a)	当該建物の建設時の 取得単価 (b)		建設時延べ床 面積 (c)	a / (b/c)	建設時自己資金 (d)		d/b
合計														0

※ 割合は小数点第4位四捨五入。

(2) 大規模修繕に必要な費用

減価償却累計額 (a)	一般的大規模修繕 費用比率 (b)	大規模修繕実績額	合計額①	※大規模修繕額が不明な場合		合計額 (①、②のいずれか)
				貸借対照表価額 (c)	合計額② ((a×b) × c / (a+c))	
						0

(3) 設備・車輦等の更新に必要な費用

項目	金額
合計	

(4) 合計

項目	金額
将来の建替費用	0
大規模修繕に必要な費用	0
設備・車輦等の更新に必要な費用	0
合計	0

4. 「必要な運転資金」

項目	金額	月数	合計額
年間事業活動支出	480,022,832	12	120,005,708

5. 「計算の特例」

項目	金額	月数	合計額
年間事業活動支出	480,022,832	12	480,022,832

6. 「社会福祉充実残額」

項目	金額	控除対象財産計	計算の特例適用
活用可能な財産	-203,508,238		
社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等	0	480,022,832	※「5. 計算の特例」の適用有無を変更する場合は、以下のセルから選択すること。
再取得に必要な財産	0		
必要な運転資金	0		
計算の特例	480,022,832		
合計	-683,530,000		適用する

7. 「現況報告書に記載する「社会福祉充実残額」

項目	金額
社会福祉充実残額	-683,530,000
社会福祉充実計画用財産	0
合計	-683,530,000